

# 地域版信州学び円卓会議の取組について (根羽村視察)

## 1 視察の目的

「信州学び円卓会議」での議論を踏まえ、人口減少下において、その地域ならではの特色ある学びの実現に向け、まずは小規模校における学びの現状を把握するため、南信州地域の中でも小規模自治体である根羽村の学びについて視察を実施した。

## 2 視察概要

### (1) 日時・視察箇所

日 時：令和6年6月10日(月) 10:30~17:00

視察箇所：義務教育学校「根羽学園」・公営塾「げん」

### (2) 訪問者

信州学び円卓会議委員 岩瀬委員(軽井沢風越学園 校長)

三輪委員(波田小学校 校長)

南信教育事務所 飯田事務所 細江所長

県民文化部県民の学び支援課 4名

### (3) 参加者

根羽村：根羽村長・教育長 根羽学園：校長・教頭 公営塾：塾長他 2名

### (4) 主な視察内容

- ・根羽学園の施設及び授業(教科・総合学習)を見学した後、根羽村役場で村長及び教育長と意見交換し、現状や課題感の共有を図った。
- ・また、公営塾「げん」の視察を行い、塾で取り組んでいるプロジェクト型学習について、村から委託を受けている(一社)「ねばのもり」から説明を受け、学校外の学びの現状を共有した。

### (5) 委員の主な意見

- ・義務教育学校の強みを活かして異年齢で行える授業を積極的に取り入れるとよいのでは。異年齢で行うことで、教員は工夫した授業を行わざるを得なくなる。
- ・自由進度学習や課題解決学習をやりたい先生は多い。根羽村は行政の理解があり、共に学んでいくところは魅力的。
- ・公営塾のプロジェクト学習は異年齢の関わりもあり面白い取組をしていた。根羽学園での学習と連動するとよりよく、先進的な取組により、根羽村で学ばせたいと思う親が出てくる可能性は十分ある。

## 3 今後について

- ・根羽村においては、先進地視察等を含め、地域が主体となった議論・検討を通して、村全体で学びの方向性を「学びのコンセプト」として決定し、具体化を目指す。
- ・その他の地域においては、第1回地域版信州学び円卓会議に引き続き、地域主体で学びについて考える機運醸成を継続して実施しつつ、個別市町村に聞き取りをしながら、学びに係る地域課題解決のための広域連携の可能性を探っていく。